

異文化理解・心のバリアフリーを進める取組

- 2020年東京大会をきっかけに、**高齢者も若者も、障害のある人もない人も、言葉や文化の違いも関係なく、すべての人がお互いを尊重し合い、支え合う共生社会を地域のレガシーとして実現**することが重要。
- 誰もの心の中にある障壁（＝「バリア」）を取り払う、「心のバリアフリー」※を促進。
 - ※ 「心のバリアフリー」とは、「様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと」をいう。（「ユニバーサルデザイン2020行動計画」（平成29年2月ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議策定））

「心のバリアフリー」を学ぶアニメーション教材

- 外国人や障害者など異なる条件を持つ多様な人々とコミュニケーションをとる際に、知っておきたい知識や心の持ち方を、分かりやすく学ぶことができる入門教材（全40分程度）
 - ✓ 「心のバリアフリーについて学ぼう」～メッセージ編～（10分程度）
 - ✓ 「バリア」とはなんだろう？（2分程度のモジュール6本で構成）
 - 声かけが必要なのはどんなとき？
 - 困っていることに気づいたら①
 - 困っていることに気づいたら②
 - コミュニケーションの取り方が分からないときは？
 - 見慣れない状況に出会ったら
 - 「障害」とは何だろう？
 - ✓ 異文化交流をしてみよう（3分程度のモジュール7本で構成）
 - インタロダクション
 - 日本人の習慣、私たちの町を紹介しよう
 - 食事場面で
 - 日本の文化、生活体験
 - 買い物
 - リスク管理
 - 外国人と接する際の心構え



- 概ね中学生以上の人々を対象に、①セルフラーニングや、②集合研修の教材として活用。
- 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局のWEBに掲載

URL:http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/program.html

